

第9回国土交通省東日本大震災復興対策本部

- 1 日時：平成25年 3月 7日 18:50～19:25
- 2 場所：4階幹部会議室
- 3 出席者：太田大臣（本部長）、副大臣、大臣政務官、
事務次官、技監、国土交通審議官、官房長、関係局長、他
- 4 議題：大臣指示、復興の取組状況と加速策、現場からの報告

【主な発言内容（太田大臣より）】

- 東日本大震災から間もなく2年が経過しようとしていますが、改めて亡くなられた方及びご遺族の方に哀悼の意を表するとともに、今なお行方が分からない方々のご家族を始め、被災された方々に心からお祈り申し上げます。
- 本日安倍総理ご出席のもと、復興推進会議が開催され住宅再建、まちづくり工程表と施策パッケージ、福島の早期帰還・定住プランについてご報告があった。今回の住宅再建・まちづくり工程表の策定により被災者の方々にとって時間軸が明確になり住宅や生活再建に向けた見通しが立つとともに、事業者の方々にとっても事業計画や経営戦略が組みやすくなるなど、大きな意義があると考えている。
- 工程表に基づき事業のスピードアップを図るとともに、施策パッケージに基づき被災市町村それぞれの事情に応じた隘路を打開し、少しでも前倒しを図っていきたい。
- 工程表の遂行に当たっては、技術者・技能者の不足、生コン等資材の不足、入札不調、用地取得など現場それぞれに問題がある。このような問題を解決し、迅速で円滑な執行に向けて色々と手を打っていただきたい。これらにより、現場の直面する課題に則した施策を講じまして、被災自治体それぞれの隘路を打開して復興を実感できるよう国土交通省が一致団結して取り組む。
- 復興には国土交通省の取り組みは不可欠であり、本日の復興推進会議の取りまとめで今後の復興も相当見通しが立った。これからは1日でも早くそれを実現させて、被災者の皆様に良い知らせを1日でも早く知らせるということが大事である。